

是正措置に関する政策 遵守政策3

1. はじめに

この遵守政策は、CCSBT戦略計画の戦略 9.1(ii)¹を実施するための方向性や指針を提供するものである。

公平で、透明性が高く、及び差別のない罰則手続き（例：過剰漁獲分の返済、枠の削減）並びに遵守を促進するためのインセンティブを定める。

~~メンバーによる義務の非遵守は、主に以下に掲げる3つの要因によって生じ得る。~~

- ~~● 義務を実施する際の行政上の過失~~
- ~~● メンバーの管轄下における漁業者、蓄養業者、加工業者、輸出業者又は輸入業者の非遵守に対して、当該メンバーが対応策を講じないこと~~
- ~~● 義務の実施を免れるためのメンバーによる意図的な行為~~

~~いずれの事例においても、対応が必要である。さもないと、義務は無意味なものとなってしまう。対応の仕方については、非遵守の原因及び重要性によって異なる。影響が少ない行政上の過失への懲罰的な対応は、逆効果であると思われ、また遵守計画と矛盾するものである。~~

この政策において、全ての委員会には拡大委員会も含まれ、メンバーには拡大委員会の協力的非加盟国（CNM）が含まれる。

2. 政策の目的

この政策の目的は、委員会の安定性及び求心力を維持する方法で、全てのメンバーに CCSBT の義務を遵守させることである。したがって、同政策は、メンバーによる非遵守の兆候があった際に、これに対応する枠組みを規定している。初期の対応は、メンバーが CCSBT の義務を効果的に遵守する能力を有するのを支援することに焦点を合わせている。~~非遵守の例は、別添 1 において列挙している。~~

3. 政策提言

~~委員会は、非遵守への対応を決定する。~~非遵守の兆候があった際には、この政策で規定する原則、指針及び意思決定プロセスに基づき取り扱うこととする。委員会は、全ての調査を開始させ、非遵守への対応を決定する。

3.1 原則

¹ これは、遵守計画案における「9.2 是正措置及び改善」に該当する。

1. 証拠主義：非遵守の評価は、いずれも場合においても客観的な根拠に基づくものでなければならない。これには、メンバーによる任意の公開、科学データの分析、及び全ての監査、調査又は市場レビューの結果が含まれる。
2. 協力：全てのメンバーは、実際に発生した又は可能性のある非遵守に対するいかなる取調べ又は調査に対しても協力しなければならず、また SBT の管理体制の完全性を強化する方法で直ちに問題解決のために努力しなければならない。
3. 公平なプロセス：全てのメンバーは、以下に掲げる事項を行うための合理的な機会が与えられなければならない。
 - a) 非遵守に関する第三者の証言をレビューし、書面にて反論（それは、かかる証言に異議を申し立てるものか、又は非遵守の理由を説明するもので構わない）を提出する
 - b) この政策に整合的な改善又は是正措置の案を策定する

~~1.4. 透明性：全ての年次履行報告書、監査報告書及びメンバーからの反論は、公表されなければならない。文書については、CCSBT 手続規則の規則 10 に基づき、委員会年次会合後可能な限り速やかに CCSBT のウェブサイトに掲載されなければならない。~~

- ~~2. 公平なプロセス：全てのメンバーは、以下に掲げる事項を行うための合理的な機会が与えられなければならない。~~
 - ~~○ 非遵守に関する第三者の証言をレビューし、書面にて反論（それは、かかる証言に異議を申し立てるものか、又は非遵守の理由を説明するもので構わない）を提出する~~
 - ~~○ この政策に整合的な改善又は是正措置の案を策定する~~
- ~~3. 証拠主義：非遵守の評価は、いずれも場合においても客観的な根拠に基づくものでなければならない。これには、メンバーによる任意の公開、科学データの分析、及び制度監査又は市場レビューの結果が含まれる。~~
- ~~4. 協力：全てのメンバーは、実際に発生した又は可能性のある非遵守に対するいかなる調査に対しても協力しなければならず、また SBT の管理体制の完全性を強化する方法で直ちに問題解決のために努力しなければならない。~~

3.2 是正措置の指針

メンバーの義務に対する非遵守は、以下に掲げる 3 つの主要な要因によって発生し得る²。

² 別添 1 において、非遵守の例を列挙している。

- 行政上の過失（義務を裏付ける効果的な制度及びプロセスの不完全な履行等）
- メンバーの管轄下における漁業者、蓄養業者、加工業者、輸出業者又は輸入業者の非遵守に対して、当該メンバーが対応策を講じないこと
- 義務の実施を免れるためのメンバーによる意図的な行為

非遵守の証拠があった場合において、是正措置の勧告を決定するに当たって、以下に掲げる指針が適用される、

1. メンバーの漁獲量が、当該メンバーの単一年又は複数年の国別配分の制限量を超過した分については、第一に、委員会が決定した期間において 1:1 の割合で返済されなければならない。特別な加重要件が存在する場合には、より高い比率の漁獲枠の返済を決定することができる。

~~4.2.~~ 行政上の過失は、第一に、特定の期間内に行政的な欠陥を修正するための合意された計画を通じて対処されなければならない。

~~2.3.~~ メンバーのうち発展途上国において発生した行政上の過失に対する是正措置に関しては、キャパシティ・ビルディング計画に焦点を絞らなければならない。ただし、これはそのような不備の是正を実際に対象としているが効果的には是正されると考えられる場合に限る。

~~3. メンバーの漁獲量が、当該メンバーの単一年又は複数年における国別漁獲枠を超えた場合、当該超過量は特定の比率で、特定の期間内に、返済されなければならない。~~

4. 是正措置は、適切な加重要素、すなわち、他のメンバーが被る被害、正当な理由に基づかない継続的な非遵守（複数年にわたる制度的な過小報告又は過剰漁獲を含む）、CCSBT の義務を免れようとした意思についての証拠等を考慮しなければならない。

3.3 意思決定プロセス

遵守委員会

遵守委員会は、以下に掲げる事項を実施する。

- 非遵守に関する初期的な兆候の評価
- 当該メンバーに対する調査及び報告の要請
- 必要に応じた（例えば、メンバーが支援を必要としている場合や、同委員会が当該メンバーによる調査に不服がある場合）独立調査の勧告開始。かかる調査には、監査又は市場レビューが含まれ得る
- 受領した報告書に基づく非遵守の証拠のレビュー

- 当該メンバーが提案している改善措置の検討
- 委員会への報告書の作成。かかる報告書には、調査結果、当該メンバーとの間で合意された全ての改善措置、並びにこの政策の原則及び指針に基づく全ての追加的な是正措置の勧告案が記載される

当該メンバーには、CCSBT 上の義務の遵守を改善するための是正措置又は改善措置を提案する機会が与えられる。メンバーは、行動方針案の作成に向けて遵守委員会の支援を要請する。

遵守委員会は、当該メンバーからの提案を検討した後、その提案に合意するか、さもなければ、委員会によって検討されるべき是正措置を勧告することができる。

遵守委員会から委員会への報告書には、多数及び少数意見を含めることができる。

委員会

委員会は、以下に掲げる事項を実施する。

- i) 遵守委員会報告書の検討
- ii) 結果（是正措置）に関しての当該メンバーとの協議

3.4 是正措置のリスト

具体的な状況及び非遵守の程度に応じて、遵守委員会が勧告する是正措置には、以下に掲げるものを含めることができる~~この政策に基づき、是正措置は以下に掲げる事項を含むものとするが、これらに限定されない。~~

1. 遵守支援 キャンパシティ・ビルディング計画

- 技能訓練—例えば、オブザーバー、コンプライアンス・オフィサー又は確認者を対象とするもの
- 制度の構築—例えば、運用制度及び手続きの策定又は改善のための技術的又は財政的支援
- 分析支援—例えば、漁獲から市場までの SBT の流通の監視について改善するため
- 機材の購入—例えば、VMS、データの記録及び漁船からのデータ送信

2. 漁獲枠の返済

- ~~量（オプション：1:1 以上）~~
- ~~期限（オプション：通常 1 年以内とし、特別な状況下では最大 5 年まで）~~

3. 国別漁獲配分の削減

~~3.4. 監視要件の強化~~ オンサイト・リスト管理

- ~~地域オブザーバー計画を通じた~~オブザーバーの配置
- 検査に関する要件の増加

- ~~監視要件の追加~~
- VMS の報告頻度の増加
- 転載又は水揚げに関する規制

5. 公表

6. 国際法と整合的な貿易又は市場規制

~~遵守委員会は、委員会が漁獲配分を決定する際に非遵守を考慮に入れるよう勧告することもできる。~~

4. この政策に基づく役割及び責任

主体	責任を有する事項
委員会	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>政策の承認</u> ● <u>遵守委員会からの勧告の検討</u> ● <u>調査を開始</u> ● 是正措置の決定
遵守委員会	<ul style="list-style-type: none"> ● メンバーの遵守状況の監視 ● 必要に応じた独立調査の開始 ● 非遵守の証拠の評価、メンバーからの意見の検討 ● 是正措置についてのメンバーからの提案を検討 ● 必要に応じた <u>以下の委員会への是正措置の勧告</u> <ul style="list-style-type: none"> ○ <u>独立調査</u> ○ <u>漁獲枠返済の期限</u> ○ <u>1:1 より大きい比率の漁獲枠返済</u> ○ <u>是正措置</u> ● 政策のレビュー及び <u>勧告されるすべての</u> 改訂
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ● ウェブサイトに政策及び報告書を掲載
メンバー	<ul style="list-style-type: none"> ● 非遵守の証拠の調査 ● メンバーが実施した調査又は独立調査から得られた非遵守の証拠に対処

5. 政策のレビュー

この政策は、合意の日から 3 年ごとにレビューするものとする。~~遵守委員会~~は、それよりも先に、いつでもレビューを指示することができる。メンバーは、早期

のレビューを要請することができる。かかる要請は、レビューを求める理由とともに遵守委員会年次会合に提出されなければならない。

6. 承認

この政策は、委員会によって承認された。

委員会議長

日付:

レビューの日付: _____ (ただし、これよりも先にレビューを行う場合を除く。)

別添 1. 非遵守の例

- 許可船舶、蓄養場及び運搬船の活動の監視及び管理を有効に実施できないこと
- 漁獲量を国別漁獲枠内に収めることができないこと
- CDS 文書に関して、証明及び確認等の基準を満たすことができないこと
- オブザーバー・カバー率を達成できないこと
- 有効な VMS を実施することができないこと
- 委員会又は遵守委員会等に対して報告が行われないこと
- 監査によって指摘された MCS 制度上の不履行又は不適切な事項
- 漁獲量に関するメンバーからの誤報告
- メンバーの MCS 制度の種類及び有効性に関するメンバーからの誤報告
- 是正措置を実施しようとする正当な意思を欠いた継続的な行政的過失